

2成分のクロスパワーで 一年生雑草をたたく!

畑作用除草剤

ワンクロスWG

®は登録商標



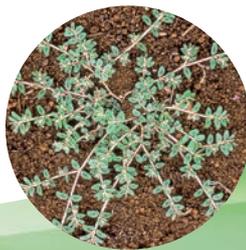
アキノエノコログサ



イチビ



シロザ



コニシキソウ



イヌビユ



メヒシバ

特長

畑地一年生雑草全般に有効

イネ科雑草全般に高い茎葉処理効果を示すフルアジホップPと、一年生雑草全般、特に広葉雑草に対して高い茎葉兼土壌処理効果を示すリニュロンの効果により、一剤で殆どの畑地一年生雑草を防除することが出来ます。

雑草の後発生を抑える

雑草茎葉処理効果の他、土壌処理効果を有し、一定期間雑草の後発生を抑える事が出来ます。

殺草スペクトラム

製品量 (g / 10 a)	イネ科雑草					広葉雑草							
	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	アキノエノコログサ	イヌビユ	アオゲイトウ	シロザ	タア類	センダングサ	アメリカ	タカサブロウ	イヌビユ	スベリヒユ
200	○	○	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎
250	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
300	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎:効果極大、○:効果大

日本植物調節剤研究協会委託試験および石原産業(株)中央研究所内試験結果より

≫ 適用作物別の使用方法と使用上の注意事項

にんじん

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	総使用回数	
			薬量	希釈水量			フルアジホップを含む農薬	リニuronを含む農薬
にんじん	一年生雑草	は種直後(雑草発生前)	200~250g	100ℓ	1回	全面土壌散布 雑草茎葉兼土壌散布	1回	2回以内 (は種直後は1回以内、 にんじん3~5葉期は1回以内)
		3~5葉期(雑草生育期) ただし、収穫30日前まで						

【にんじん生育期での使用上の注意】

- にんじんの生育期に使用する場合、にんじんの4葉期頃が散布適期です。(ただし、雑草草丈20cm以下)
- 高温時は使用しないでください。
- にんじんの発芽直後から3葉期末まで使用しないでください。
- 特定の品種(ベータ312等)に使用すると薬害を生じる場合があるので使用しないでください。
- 品種により薬害を生じることがあるので、事前に使用品種における薬害の有無を確認してください。
- 軟弱徒長しているにんじんには使用しないでください。
- 展着剤は加用しないでください。

だいず

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	総使用回数	
			薬量	希釈水量			フルアジホップを含む農薬	リニuronを含む農薬
だいず	一年生雑草	は種後出芽前(雑草発生前)	250~300g	100ℓ	1回	全面土壌散布 雑草茎葉兼土壌散布 (畦間・株間処理)	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、 雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)
		本葉3葉期以降(雑草生育期) ただし、収穫45日前まで						

【だいず生育期での使用上の注意】

- 散布適期は雑草生育期(草丈15cm以下)です。
- 専用ノズルを使用してください。また、だいずへの選択性はないので、噴口はできるだけ低くし、だいずの本葉にかからないように散布してください。

かんしょ

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	総使用回数	
			薬量	希釈水量			フルアジホップを含む農薬	リニuronを含む農薬
かんしょ	一年生雑草	生育期(雑草発生揃期) ただし、収穫60日前まで	200~300g	100ℓ	1回	雑草茎葉兼土壌散布 (畦間処理)	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、 雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)

【かんしょ使用上の注意】

- 散布適期は雑草発生揃期(草丈10cm以下)です。かんしょにかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように散布してください。

◎かんしょ生育期処理試験事例(社内試験)



[試験概要] 品種: 紅はるか、散布日: 2017年6月22日、処理時発生雑草: メヒシバ 15cm、ホンアオゲイトウ 12cm、イスタデ 15cm 他

≫ 作物共通の注意事項

- 散布液の調製時は本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。条件により溶けにくい場合があるので、必ず一次希釈を行ってください。
- 砂質で水はけのよい畑では、薬量を控えめにしてください。また、激しい降雨が予想される時には使用しないでください。
- 砂土では使用しないでください。
- マルチ栽培、トンネル栽培等での使用はさけてください。(ただし、かんしょのマルチ栽培は除く)
- カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、これら雑草の優占圃場での使用はさけてください。
- 散布薬液の飛散、あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう、十分注意して散布してください。
- 使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。● 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は2023年2月時点での知見に基づいて作成しています。

